

**講座
25**

伝統芸能の楽しみを見直す

【定員】100名 【受講料】 2年会員15,380円 1年会員17,060円 聴講生22,080円

『音楽・芸能』 日本の伝統芸能 【時間】 毎回13時30分～15時00分 (計12回)

概要

伝統芸能の危機が叫ばれています。愛好者や演奏者の減少、国立劇場の長期閉館なども話題を呼んでいます。私たちにとって伝統芸能とは何のためにあるのか、その楽しみはどこにあるのかを改めて考えます。演奏ゲストもお迎えします。

回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/ 8(月)	高津市民館 大会議室	伝統芸能を見直す(1) 日本史の中の芸能	洗足学園音楽大学 現代邦楽研究所 所長 森重行敏
2	4/22(月)		伝統芸能を見直す(2) 古代芸能への視点。復元楽器のいろいろ	
3	5/13(月)		伝統芸能を見直す(3) 中世芸能を知る。芸能の原点を辿る	
4	5/27(月)		伝統芸能を見直す(4) 近世芸能の成り立ち	
5	6/10(月)		伝統芸能を見直す(5) 近世芸能の成熟	
6	6/24(月)		伝統芸能を見直す(6) 近代日本における芸能	
7	7/ 8(月)		三味線のいろいろ 【ゲスト 上原潤之助】 **1	
8	7/22(月)		世界の中の日本音楽 日本の芸能の独自性とは	
9	8/ 5(月)		日本音楽の音階と理論1 古代	
10	8/26(月)		日本音楽の音階と理論2 近世	
11	9/ 2(月)		箏曲の歴史を聴く 【ゲスト 吉原佐知子】 **2	
12	9/ 9(月)		まとめ 伝統芸能はどこへ行くのか	

**連絡
事項**

*1,*2の回は演奏家の方を招いて演奏会を予定しております。この日はこの講座の受講生以外の方も受講できる日です。資料代として2,000円をいただきます。受講をご希望される方は事前の申込みの必要はありません。当日直接会場へお越しください。